

農村振興に寄与する取り組みについて

【鳥獣害対策による農産物被害等の低減とジビエの活用】

2022年9月28日



農村地域における害獣対策について

現状と背景

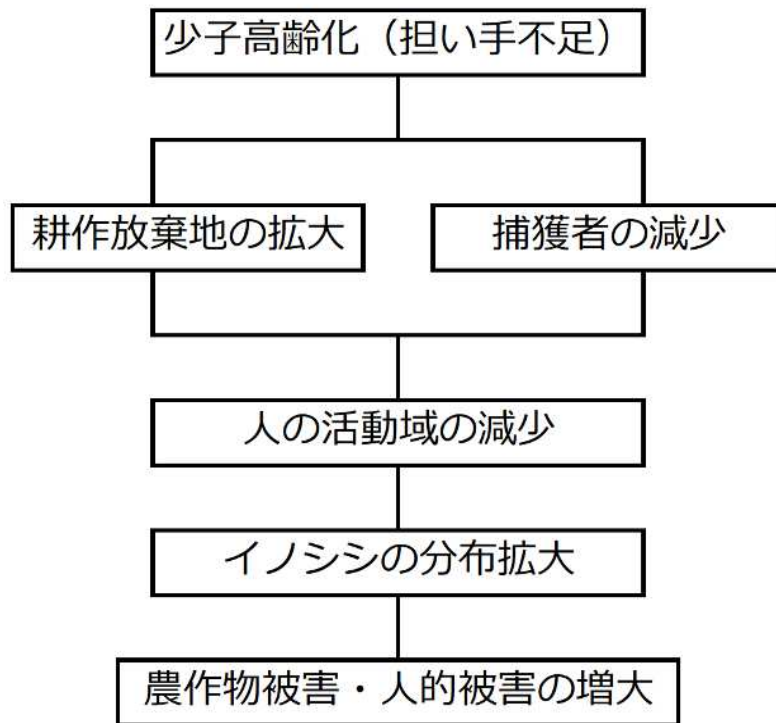
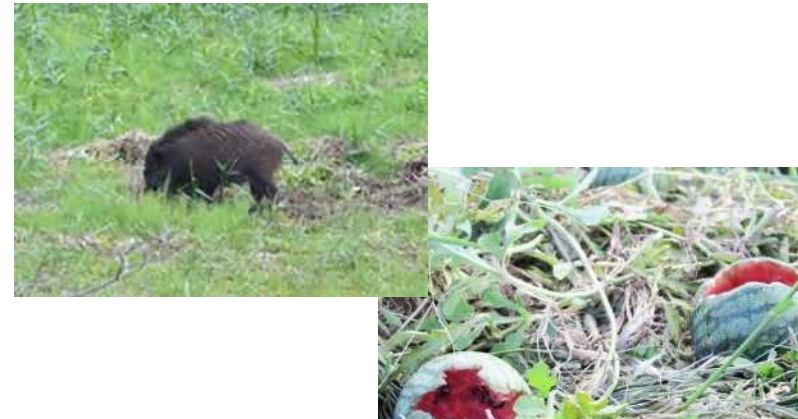


表 香川県のイノシシ捕獲頭数の推移（2015年～2020年）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
捕獲頭数	10,452	12,118	11,642	11,766	14,743	12,648
対前年比（%）	-	116	96	101	125	86

（香川県資料より作成）



農村地域貢献活動への参画

弊社は農林水産省が国民運動として推奨するニッポンフードシフトに賛同し、推進パートナーに登録・加入しました。その一環として、今回紹介するイノシシ捕獲対策を関係機関と連携・協力して実施しております。香川県では、全域でイノシシなどによる農作物被害が発生し、令和2年度農作物被害額は1億1000万円余りに上っています。しかし、狩猟者以外の捕食者のいないイノシシ等は全国的な狩猟者数減少に被害防止は追いつかない状態となっています。

そこで、当社は本社工場（香川県綾歌郡綾川町）のある地元自治体の綾川町及び綾川町猟友会と鳥獣被害対策の箱罠設置等に関する協定を締結し地域貢献活動へ参画しました。



三者による地域貢献活動協定書締結 (令和4年3月1日)

地域貢献活動協定書

綾川町長 前田 武俊 (以下「甲」という。)、綾川町親友会会長 西山 浩二 (以下「乙」という。)、及び日東河川工業株式会社 代表取締役社長 向阪 敬 (以下「丙」という。))は、甲及び乙が行っている鳥獣被害対策の箱罠の設置について、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、丙が綾川町内において事業を行うにあたり、地域社会の一員としての役割を十分認識し、地域との共存を図ることにより、甲及び乙が進める鳥獣被害対策の実現に寄与するよう締結する。

(箱罠の提供)

第2条 丙は、甲及び乙と協議し、必要数の箱罠を甲に無償にて提供する。

(箱罠の設置)

第3条 丙は、甲に提供した箱罠をこの協力の元、乙の指示する場所への設置を行う。

(ジビエの販売促進への協力)

第4条 丙は、捕獲した鳥獣をジビエとして加工・販売する際は積極的に販売促進に努めるものとする。

この協定を証するため、本書を3通作成して、甲乙丙3者それぞれ署名捺印の上、各自その1通を保有するものとする。

令和 4 年 3 月 1 日

甲 住所 香川県綾歌郡綾川町滝宮290番地
氏名 綾川町長 前田 武俊

乙 住所 香川県綾歌郡綾川町
氏名 親友会会長 西山 浩二

丙 住所 香川県高松市中央町五番三号
日東河川工業株式会社
氏名 代表取締役社長 向阪 敬

広報あやがわより



左：弊社代表取締役社長 右：綾川町長
令和4年3月：協定締結・箱罠2基を寄贈

日東河川工業株式会社

活動事例①: 綾川町猟友会様と鳥獣被害対策の箱罾設置



令和4年3月17日 箱罾を2基設置

活動事例②: 社内イベントでのイノシシ肉の試食会開催

猟友会様より捕獲したイノシシ肉の提供を頂き、弊社職員による試食会を行いました（令和4年7月16日）

参加者による感想

- ・ 思っていたよりも臭みが無く、食べやすい。
- ・ 柔らかく、おいしかった。 etc

参加者全員が、思っていたよりも「おいしい」の感想でした。



地域と連携し被害を防止



捕獲状況

綾川町では今年度に入り44頭捕獲しております。(8月末現在)
なお、箱罾は綾川町全体で14個設置されており、6頭程度の捕獲に貢献できたと推定します。

今後の活動

- ①令和4年9月に箱罾3基の追加寄贈・設置
- ②破損した箱罾の修理・メンテナンス
- ③侵入防止柵の設置
- ④ジビエの活用

今後も地域と連携し継続的な農村地域貢献活動を行ってまいります。

会社概要

昭和28年11月創業以来70年に渡り、河川・ダム・海岸等の利水をはじめとする多種多様な水事業に携わっております。



本社所在地：香川県高松市
本社工場：香川県綾歌郡綾川町
他全国に8営業所



三好排水機場（東北農政局）



市野新田ダム（北陸農政局）



徳島頭首工（関東農政局）



名草排水機場（近畿農政局）



那賀川呑口調整ゲート（中国四国農政局）



潜水前ダム施工後見学会(香川県)